

奥村のり子の
読者ニュース

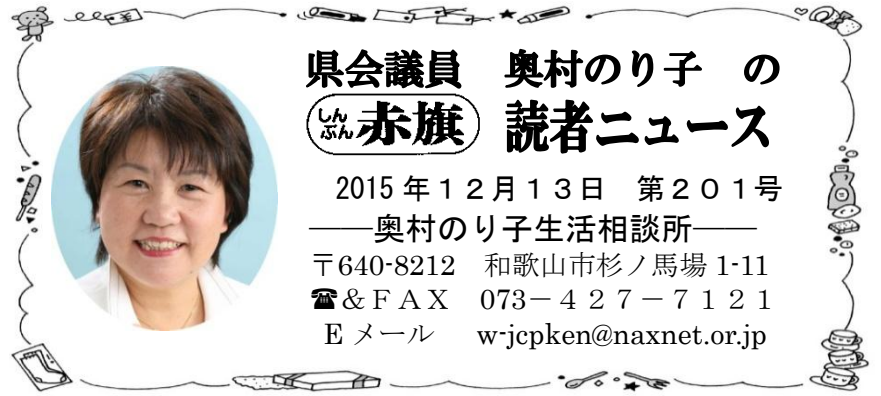
2015年12月13日 第201号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w-jepken@naxnet.or.jp



“アホノミクス”で
さらに生活が大変

安倍政権の経済政策をアホノミクスと言う人がいるが、中には「アホノミクス」とおっしゃる著名人もいます。「世界で一番企業が活動しやすい国」へ安倍首相になって、資本金10億円以上の大企業の内部留保は38兆円増え300兆円を突破。それなのに「1億総活躍社会」の緊急対策で法人税率を来年からさらに29%台に引き下げる。大企業はナンボ儲けても労働者の賃金や設備投資に回さず貯め込むばかり。減税しても無意味だから「アホノミクス」だろう。「1億ナントカ」は戦時中の「1億玉砕」で安倍爺さん（岸信介）の好みでしょう。一方、国民に再来年4月から消費税10%へ引き上げ。今、食料品の軽減税率めぐり与党で駆け引き中ですが、仮に生鮮食料品が据え置かれたとしても、消費税率10%への引き上げは試算によると平均世帯で5万円、年収200万円以下の低所得者で2万円超す負担増です。「子どもは産め産め」と言う政権ですが、保育料の算定方法の変更で子どもが多いほど保育料が上がる負担増で悲鳴の保護者がいます。これが安倍流「少子化対策」で全く悲劇というべきです。

戦争法、原発、TPP、憲法破壊、沖縄の米軍の新基地建設など何をとつてもまともなことは何もない安倍暴走政権の打倒へ来年の参院選は決戦です。頑張りましょう。（編集室）

一般質問

農業、保育所待機児童や
県有施設の移管問題で質問

このニュースがみなさまのお手元に届いた頃は一般質問も終わっていると思います。今回は農業における後継者養成や保育所の子育て支援では待機児童の問題や、議案として提出されている県立母子生活支援施設と県立児童発達支援センターの建物を無償で県から法人に譲与し、移管後支援内容が変更となる問題をとりあげました。また、後期高齢者医療制度の保険料引き下げや、実情に応じた医療ビジョンを策定をもとめて

います。今年度の4月から子育ての新制度がはじまりましたが10月1日時点で今までになく和歌山市で152人を含め215人もの待機児童が発生しているこ

とがわかりました。この原因については県は出産後、早期に就労を開始することを希望する女性の増加としています。消費税増税分は福祉にまわすと言いつつ全くと十分な状況が浮き彫りになりました。子育てにお困りの方、ぜひ解決に向けて一緒に力を合わせましょう。（奥村のり子）

2施設を
訪問
しました



↑すみれホームさんで



↓若竹園さんで

県有施設が民間譲渡されることによる利用者さんらへの影響について、母子生活支援施設和歌山すみれホームさんと児童発達支援センター若竹園さんを訪問し、実情などをお伺いしました。

今議会最終日に採決

2011年の4月に山口地区滝畑に産業廃棄物安定型最終処分場計画が明らかとなつてから約5年が経過しました。地元・関係住民の方々は血のにじむような反対運動を展開され、昨年の市長選挙では候補者全員が「計画反対」を表明するなど、闘いは前進していませんが、業者は計画を断念せず、本申請にむけ準備を進めています。

先日、12月議会開会中の和歌山市議会に山口地区連合自治会（会長 園部 尚正氏）から「山口地区産業廃棄物安定型最終処分場建設の反

産廃建設の反対決議を求める請願 提出

対決議を求める請願」が提出されました。請願の趣旨は「和歌山市議会において、山口地区山中に計画中の産業廃棄物安定型最終処分場設置計画について、下記の理由により貴市議会における反対の決議を求めます。」というものです。

請願の理由として(1)産業廃棄物安定型最終処分場建設設置計画場所(以下、計画地という)は、水源地であり貴重な水資源が汚染される。(2)計画地は脆弱な地盤、地質で山地災害により計画地そのものが崩壊する危険性がある。(3)当該処分場設置計画は、周辺の市民生活を脅かす。等としています。

この請願の審議が付託されているのは厚生委員会、委員会採決は12月9日です。議員全員（議長を除く）の採決は議会最終日の12月14日、午後からの本会議となっております。是非傍聴にお越し下さい。

12月の週刊日誌—主なもの—

- 12月11日 市駅前吉宗像前宣伝 議会
- 12月 演劇鑑賞会
- 13日 ウォーキング
- 14日 休会 団会議
- 15日 常任委員会
- 16日 常任委員会予備日 団会議
- 17日 本会議、決算反対討論、無料生活相談

党市議会議員
南畑さち代



山口連合自治会

